

## 東海地域通信インフラ整備推進協議会 第 6 回会合

# 情報通信環境整備の取り組み状況について (石部棚田地区の事例紹介)

農林水産省  
関東農政局農村振興部地域整備課  
令和 7 年 1 月 1 5 日

# 情報通信環境整備の取り組み状況について

## 「石部棚田地区」(静岡県賀茂郡松崎町)

### 【地域の概要】

- ・松崎町は、伊豆半島西海岸の南部に位置する。
- ・石部棚田は、勾配1/5.7、標高120～250mに急勾配で連なる、約370枚の石積みの棚田。指定棚田地域に指定されており、農林水産省「つなぐ棚田遺産」に認定されている。
- ・棚田は小区画・不整形で、棚田内に縦貫する農道のみが整備されている状況。用排水は田越しで行われており、農業生産性が著しく低い。そのため、都市住民が参加した棚田オーナー・トラスト制度を活用し、石部棚田保存会が保全・管理を行っている。



## 【事業申請に至るまでの背景】

- ・棚田保存会メンバーの高齢化
  - ・棚田施設(農道、水路等)の老朽化
- 日常的な棚田の水管理や畦畔管理に多大な労務が生じている。



↓

・ICT技術を活用した棚田の水管理(監視・制御)は労務の省力化につながることから、棚田の持続的な維持・保全に向けて、情報通信環境の整備が強く望まれている。

↓

農業農村情報通信環境整備準備会における支援を経て、令和6年4月に農山漁村振興交付金(情報通信環境整備対策)の計画策定事業を申請。11月から同事業を実施中。  
(計画策定事業の完了後、施設整備を行う)

## 【計画策定事業の実施内容(石部棚田地区)】

・①河川取水場所のバルブ自動化、②用水ブロックごとの起点・終点及び農道から遠く徒歩での巡回が困難な棚田への水位センサーの整備について、電波の試行調査を行いながら、現在無線局として想定されるLPWAと自動バルブや水位センサーの通信環境及び、監視・制御等の検討を行う。

・実際の水管理を行う棚田保存会と情報通信・監視・制御に関する専門家等により、聞き取り調査やワークショップ等を行い、今後の情報通信環境の整備計画策定を行う。

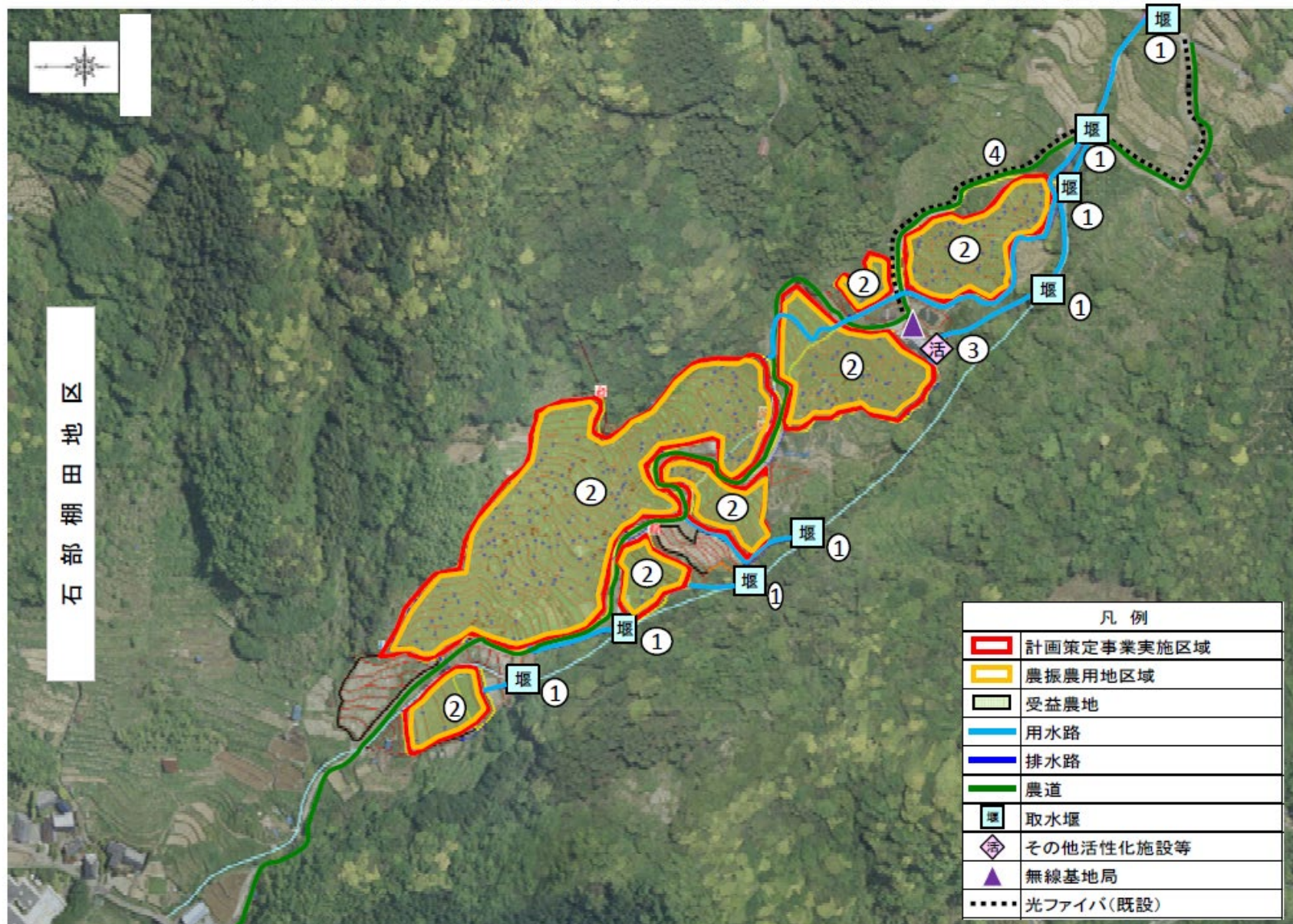


試行調査の数量

工種・機器	規格	数量
無線通信用施設 (無線基地局)	LPWA	1基
自動バルブ	LPWA	4箇所
水位センサー	LPWA	15箇所



農山漁村振興交付金(情報通信環境整備対策) 石部棚田地区 実施位置図



※①取水堰・用水路自動バルブ、②水位センサー、③無線基地局、④光ファイバー(既設)